

「主な取組」検証票

施策展開	1-(7)-イ	歩いて暮らせる環境づくりの推進		
施策	②住民参加のまちづくりの推進			
主な取組	住民参加型都市計画マスタープラン(MP)策定事業	実施計画 記載頁	73	
対応する 主な課題	都市の質の向上を図り、住民にとってより身近で分かりやすいまちづくりを進めるため、住民の関心を高める必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	市町村の都市計画マスタープラン等の策定に向けた、地域の現状と課題に対する調査、住民意見の聴取、合意形成の活動等の取り組みを支援する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	計画準備	方策検討	方策決定	2回 県・市町村 調整会議開 催数	→	→	県
	住民参加促進のための方策検討 (県、関係市町村、有識者等)			21市町村における住民 参加型MP策定の実施			
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
—	—	—	都市計画マスタープラン策定を予定している市町村についての取り組み状況やスケジュールなど基礎的な調査を実施	再掲 1-(3)-ウ 39頁
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
—			—	—
推進状況	取組の効果			
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	都市計画マスタープラン策定や地区計画策定等における取り組み状況等の基礎的な調査を実施したが、取組状況について十分に把握できなかったため「やや遅れ」である。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考

様式1(主な取組)

—	—	県内各市町村との意見交換や県外の実情などを収集から、問題点や課題等を抽出する。	—
---	---	---	---

(3) これまでの改善案の反映状況

H24年度に引き続き、事業推進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
住民参加による地区計画策定数	42地区 (23年度)	50地区 (24年度)	増加	8地区	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

状況説明	H24年度は、8市町村が地区計画を策定した。 今後はこれまでの都市計画マスタープラン策定や地区計画策定等における取組状況を踏まえ、方策を検討する予定である。
------	---

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

○これまでの都市計画は、住民等が行政の提案に対して受身の姿勢で意見を言うだけであった。
○住民等がより主体的かつ積極的に都市計画への参画を可能とするために、各市町村におけるまちづくりに関する情報を収集するとともに、まちづくり活動への支援、住民からの意見の聴取など、きめ細かな対応が求められる。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

○市町村都市計画担当との意見交換により現状を把握する必要がある。
○これまでの市町村都市計画マスタープラン策定時の地域住民意見の反映状況を確認する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

○現状把握のため市町村都市計画担当との意見交換を実施する。
○これまでの住民意見の抽出及び反映方法を検証する。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(7)-イ	歩いて暮らせる環境づくりの推進		
施策	②住民参加のまちづくりの推進			
主な取組	沖縄らしい風景づくり推進事業	実施計画 記載頁	73	
対応する 主な課題	都市の質の向上を図り、住民にとってより身近で分かりやすいまちづくりを進めるため、住民の関心を高める必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	(景観計画・地区計画策定の促進) 市町村と地域が風景・まちなみ景観の方向性を共有する場の設定やそのプロセスなど、地域資源を活用した景観計画や行動計画等詳細計画の策定を促進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	9市町村 景観計画			→	30市町村 (累計)		県 市町村
	景観計画・景観向上行動計画の策定支援						
	3地区 景観地区			→	11地区 (累計)	→	
	景観地区指定の支援						
担当部課	土木建築部 都市計画・モノルール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
景観形成推進事業	19,587	19,371	市町村の景観計画・景観向上行動計画の策定及び景観地区の指定に係る助言等を行った。【県単等】	再掲 1-(6)-ア 63頁、64頁
活動指標名			計画値	実績値
景観計画			9市町村	10市町村
景観地区			3地区	3地区
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	平成19年度では計画策定市町村が1団体だったが、24年度末で10団体まで増え、順調に進んでいる。また、景観地区指定に向け、11市町村21地区が取り組んでいる。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
景観形成推進事業	16,950	市町村の景観計画・景観向上行動計画の策定及び景観地区の指定に係る助言等を行う。【県単等】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様、事業推進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
住民参加による地区計画策定数	42地区 (23年度)	50地区 (24年度)	増加	8地区	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
景観計画策定市町村数	6市町村 (22年度)	9市町村 (23年度)	10市町村 (24年度)	↗	—
状況説明	現在、成果指標の達成に向け事業進捗中。 (参考)景観計画策定にあたっては地域の風景まちづくりに関する説明会を開催することで、住民のまちづくりに関する意識が向上し、住民参加による地区計画策定数の増加に寄与するものと考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

景観地区の指定に当たっては、地域住民の合意形成に向けて、合意形成を行う市町村への的確な助言・支援を行えるよう、市町村と密に連携を取りながら実施する。
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

順調に進捗しているが、更なる向上に向け、市町村との連携体制の強化及び市町村職員の景観に対する知識習得を図ることが必要である。
--

4 取組の改善案(Action)

市町村を対象とした勉強会や研修などを年6回程度開催し、市町村との連携体制の強化及び市町村職員の景観に対する知識習得に向け取り組む。
